

じゅこう

報恩講参拝中止

本来であれば十一月十五日
日は本願寺津村別院の報恩
講参拝。二十七日は久宝寺
御坊、顕証寺さまの報恩講
へ参拝をさせていただく予
定となっております。けれ
ど、両寺院からはコロナ
禍の影響で規模を縮小して
勤めるとのご連絡があり、
また移動のためには電車や
タクシーを利用すること
なるため、当山からの団体
参拝としては中止をさせて
いただきました。また来年
はお参りさせていただき
たいと思います。



今月のじゅこうでは「浄
土真宗の教章」というもの
をお伝えしたいと思います。
教章とは要旨と言います。
えても良いでしょう。

「私の歩む道」という
副題も付いています。

私たちのご宗旨の正式
名称は何ですか？浄土
真宗とはどんな教えで
すか？そんな問いに一
言で答えるならばとい
うことで、み教えをご
理解いただく一助とな
れば幸いです。

宗名 浄土真宗
宗祖 親鸞聖人

ご誕生 一一七三年

五月二十一日(旧暦)

承安三年四月二日

ご往生 一二六三年一月

十六日(旧暦) 弘長二年十

一月二十八日

浄土真宗の教章(私の歩む道)

宗派 浄土真宗本願寺派
本山 龍谷山本願寺
(西本願寺)

本尊 阿弥陀如来
(南無阿弥陀仏)

聖典

・釈迦如来が説かれ
た「浄土三部經」

『仏説無量壽經』

『仏説觀無量壽經』

『仏説阿彌陀經』

・宗祖 親鸞聖人が
著述された主な聖教

『正信念仏偈』

(『教行信証』行巻
末の偈文)

『浄土和讃』

『高僧和讃』

『正像末和讃』

・中興の祖 蓮如上人のお
手紙

『御文章』

教義 阿弥陀如来の本願力

第20号
(通算360号)

発行元
浄土真宗本願寺派
吉富山 浄覚寺
大阪市平野区
長吉長原3-1-10
06-6790-8350

今月のクイズ

・浄覚寺(浄土真宗)のご本尊、阿弥陀さまには、木像でも絵像でも、光背(頭の後ろから出ている放射状の光)があります。何本出ているのでしょうか？

・正解は次号にて。

によって信心をめぐまれ、
念仏を申す人生を歩み、こ
の世の縁が尽きるとき浄土
に生まれて仏となり、迷い
の世に還って人々を教化す
る。

生活 親鸞聖人の教えにみ
ちびかれて、阿弥陀如来の
み心を聞き、念仏を称えつ
つ、つねにわが身をふりか
えり、慚愧と歡喜のうちに、
現世祈禱などにたよること
なく、御恩報謝の生活を送
る。

宗門 この宗門は、親鸞聖
人の教えを仰ぎ、念仏を申
す人々の集う同朋教団であ
り、人々に阿弥陀如来の智
慧と慈悲を伝える教団であ
る。それによって、自他ど
もに心豊かに生きることの
できる社会の実現に貢献す
る。

本願を信じ

念仏を申さば

仏に成る

《歎異抄第十二条》



御文章に聞く(第17回)

参考文献：『御文章 ひらがな版を読む』 天岸淨園著 本願寺出版社

今回も御文章（蓮如上人からのお手紙）を味わっていききたいと思います。今月も女性の差別についてお伝えします。お釈迦さまがお生まれになる前のインドには、人々を生まれによって差別したカースト制度というものがありませんでした（その価値観は今でもあるようです）。お釈迦さまはその制度に厳しく否定の立場を取られ、男女平等に救われる仏教を説かれました。ですが、その仏教教団の中にも「五障」

いまの世章（四帖第十通）
今の世にあらん女人は・みなみなこころを一つにして・阿弥陀如来をふかくたのみたてまつるべし、そのほかには・いづれの法を信ずというとも・後生のたすかるということ・ゆめゆめあるべからずとおもうべし、

という差別が女性にはあったのです。五障とは、女性は転輪聖王、帝釈天、梵天、第六天の魔王、仏になれないというものです。「転輪聖王」とは古代インドの人々が考えた、武力を用いずに世界を統治する理想的な帝王のこと。「帝釈天・梵天・第六天の魔王」とは世俗の世界を支配すると考えられていたインドの神々のこと。また「仏」とはすべての人々を導く仏陀のことです。つまり、女性には世間的にも宗教的にも、指導力やリーダーシップを持たせないという差別のことですし、女性は仏に成れない性を意味するとまで言われていました。それはただけ仏教に救いを求めても、かなえられない絶望を表します。

お釈迦さまは宗教的にも社会的にも差別された女性のことを思い「女人成仏の願」という願いを立てられました。

仏教語辞典



不安な気持ちを捨てて、そのままだよい。仏の救済に出逢うことで恐怖や不安な境地の心を、安らかに社会生活や不安な事象に対して、人は苦しみを消去するのではなく、その事象を見ることが変わっていく。社

安心

『気になる仏教語辞典』

著・麻田弘潤 誠文堂新光社

仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

編集後記

今月も「じゅこう」をお届け致します。十二月の行事はごども会です。夏は中止しましたが、この度は対策を整えて、制作を中心に開催したいと思います。ご賛同いただければ幸いです。皆さま、何らかの保険には加入されていると思います。自動車保険や医療保険など様々な種類があります。普段何事もなくあれば無駄なお金ではないかと思ってしまうこともありますが、いざ事故をしたとき、病気になったときに、それから加入しようと思っても断られてしまします。平穩なときこそ加入のタイミングなのです。仏法も同じです。普段は不必要という声も聞きますが、何かが起こってからではなく、今がお聴聞の絶好のタイミングなのです。（釋法道）

行事案内

日時・十二月二十日（日）十三時～十六時
行事・浄覚寺ごども会 冬のついで
内容・タイムカプセルなど（別紙参照）
申し込み・十二月十三日までにお寺まで

ご連絡ください

（なお、当日のお参りはお休みをさせていただきます）

1月

一月一日（祝）十四時より
元日会 法話 苗村隆之先生

